

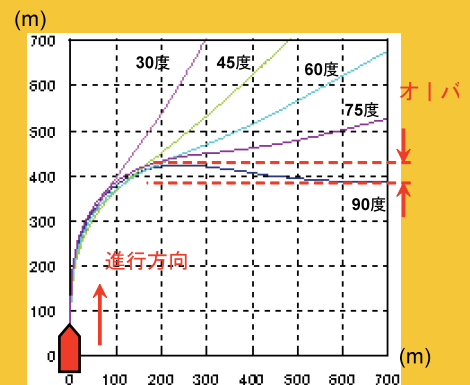
自動操舵装置を使用するに当たっての留意事項

- 自動操舵装置で航行している際に手動で舵を取っても手動優先にはなりません。このため、手動操舵・自動操舵の切換えの際にはスイッチを操作する必要があるため、手動・自動の切換えスイッチの場所を予め確認しておくこと。
- 自動操舵へ切換えた際には、針路が安定するまでに時間が掛かる可能性があるため、針路が安定したことを操船者が確認すること。

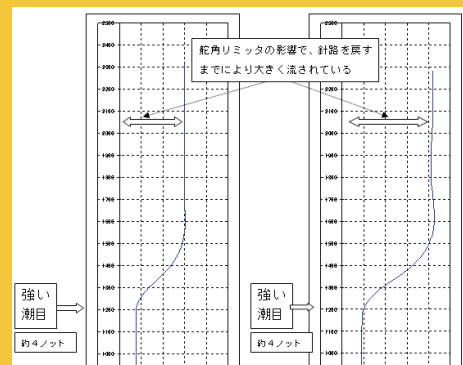
自動操舵装置の特性を踏まえた留意事項

- 自動操舵装置で変針する場合には、オーバーシュート角※があることに留意し、変針方向の海域に余裕を持った針路設定を行うこと。

※オーバーシュート角とは、目標とする針路を超えて回頭する角度を言います。



- 舵角リミッタは設定針路をできるだけ正確に維持する必要がある場合や潮流等の影響を強く受ける場合には大きく設定すること。



- 自動操舵装置の設定が不適切である場合には、調整を行うこと。
(調整方法が分からない場合には、メーカーに問い合わせること。)

